

科目名: <b>基礎英語 I</b>		科目コード	FC71
科目主査: <b>日吉 佑太</b>		単位	2
担当講師: <b>日吉 佑太</b>		配当年次	1
授業の目的と概要	グループワーク: <input type="checkbox"/> あり <input checked="" type="checkbox"/> なし	個人ワーク: <input checked="" type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> なし	カラ・マイクの必要性: <input type="checkbox"/> 必須 <input type="checkbox"/> 望ましい <input checked="" type="checkbox"/> 不要
<p>物語、エッセイ、新聞記事から広告に至るまで、様々なトピックの教材に接することで、英文法や語彙の定着を目指します。特に文法については、これまで学習してきた事項について、新しい視点を持つことで、学習のヒントにしてほしいと思います。さらに今後、英語の学習を積極的に行えるよう、リーディングやリスニングへの取り組み方の提案も行います。</p>			
履修の前提となる科目	<input type="checkbox"/> あり <input checked="" type="checkbox"/> なし	科目名:	
履修の前提となる知識 その他特記事項	「基礎英語」という名称ではありませんが、英語は積み重ねが大切な科目です。簡単で良いですので、中学で学んだ英文法の復習をしておくといいでしょう。		
テキスト	『基礎英語 I』坂本 和光(監),産業能率大学,1995年		
この科目の 到達目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>① 様々なトピックの英文読解を通して語彙力・文法力を身につける。</li> <li>② 会話でよく使う表現に触れ、それを実際に活用することができる。</li> <li>③ 英語で書かれた新聞記事を理解するための基礎知識を身につける。</li> </ul>		
成績評価 の方法	1日目終了後の課題、及び最終試験によって成績評価を行います。		
事後学習	授業を受けるだけで英語に関するスキルが著しく向上することはありません。日頃から、趣味や関心に沿った書籍や雑誌、新聞、YouTubeやPodcastなどの動画・音声素材、映画やドラマ、音楽などから継続的にインプットを行い、同時に可能な限りのアウトプットの機会を持つことで、こつこつと楽しく努力を心がけていきましょう。		
事後学習の 参考文献	『ハートで感じる英文法 決定版』大西 泰斗・P. マクベイ、NHK出版、2018年 『どんどん話すための瞬間英作文トレーニング』森沢 洋介、ベレ出版、2006年 『英語は3語で伝わります: どんどん話せる練習英文100』中山 裕木子、ダイヤモンド社、2018年		
スクーリング受講時に用意するもの <input checked="" type="checkbox"/> テキスト <input checked="" type="checkbox"/> 筆記用具 <input checked="" type="checkbox"/> 英和辞典			